

ブラウザー

=====

■ Internet Explorer

- ・文書を印刷した場合、添付ファイルの表示に ActiveX を使用している環境では、添付ファイル領域はグレーで印刷されます。
- ・ブラウザのステータスバーに表示されるプログレスバーが、進み続ける場合があります。

■ Microsoft Internet Explorer 8, 9, 10, 11 (32bit)

- ・[ツール]メニュー - [インターネットオプション] - [セキュリティ]タブの[信頼済みサイト]を選択し、[サイト]ボタンをクリックし、以下を設定してください。
 1. 本システムの Web サイトをゾーンに追加。
 2. 「保護モードを有効にする」をチェックしない。(デフォルトはチェックなし)

■ Microsoft Windows7

- ・日本語 32bit 版以外では動作保証していません。

■ Microsoft Windows8.1

- ・「トップ画面」「グループ一覧」「グループメンバー一覧」「役割一覧」の画面で、ツリーの項目選択後の右クリックメニューが表示されない場合があります。
- ・ActiveX を用いたドラッグ&ドロップが正常に動作しない場合があります。

固定書式

=====

- ・ActiveX を利用しない環境で固定書式を末尾に挿入した場合、1 行目が改行だけの場合、1 行目の改行がなくなります。

簡易承認機能

=====

- ・セキュリティマスター・キーワードマスターを利用しない環境で承認文書を登録する場合、セキュリティ設定の[上位の設定を使用]のチェックは外せません。
- ・セキュリティマスター・キーワードマスターを利用しない環境で、承認フォルダーの「キーワード設定」を変更した場合、承認文書のキーワードも承認フォルダーの設定に従って変更されます。

フォーム文書

=====

- ・フォームを作成する場合、部品の NAME 属性には日本語以外を指定してください。
-

全文検索

- ・簡易検索、詳細検索画面で検索条件に全文検索を含む場合、検索結果をソートすることはできません。

機密文書管理機能

- ・キー登録を行う場合に利用できる認証コードは、50 文字までです。51 文字以降は切り捨てられます。
- ・「1 文書 1 添付ファイルとする」がオンに設定されているフォルダーで機密文書の更新を行った場合、マイキャビネットブラウザで『GlobalDoc の「更新」ボタンを押下してください。』というダイアログが表示されます。[更新]ボタンをクリックする必要はありませんので、[OK]ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。

サーバーツール

- ・削除対象のフォルダー、文書数が多いとき、ごみ箱文書削除ツールのデータベース処理でタイムアウトが発生する場合があります。タイムアウトが発生した場合は、データベースのタイムアウト時間を長く設定するか、-r、または-dr オプションで、削除対象が少なくなるように(※)指定してください。
※-r オプションを使用した場合は、「日数」に指定した値よりも大きな値を指定します。
-dr オプションを使用した場合は、指定した日付よりも過去の日付を指定します。
- ・システム環境設定の「更新前文書を表示」を「する」に設定している環境でサーバーツールを実行した結果、バックアップ階層を超えた場合には、指定した更新者ではなく、ツール実行者の「更新前文書」一覧に表示されます。

ファイルのダウンロード

- ・添付ファイルの表示に ActiveX を使用していない環境の場合、保存ファイル名の初期値は「文書 ID. 拡張子」の形式になります。

フォルダー一覧

- ・Flash Player14, 15 では、フォルダー一覧が正しく表示されない場合があります。その場合は、Web ブラウザーを再起動してください。

バージョンアップ

- ・WebDAV 機能を利用する環境の場合、1.00R06 以前に削除した添付ファイルが、バージョンアップ後、WebDAV 文書としてごみ箱に表示される可能性があります。
※このデータは、ごみ箱文書削除ツールで削除できます。

- 1.00R06 以前に添付ファイルを削除して文書を移動していた場合、バージョンアップ後、削除した添付ファイルが復活する可能性があります。
- シンプルタスクを利用する環境の場合、1.47R00 以前に作成したシンプルタスクは開始時刻が設定時刻より遅れている場合があります。1 度シンプルタスクが実行されると次回以降は正しい開始時刻に設定されます。既存のシンプルタスクを手動で正しい開始時刻にしたい場合は、シンプルタスク編集画面において更新を行ってください。

□GlobalFlow5 の制限事項

=====

- セキュリティマスター編集画面で、セキュリティ簡易設定表示を利用して権限を設定する場合、ワークフローで使用する「書類監視権」は設定できません。設定する場合は、セキュリティ詳細設定表示に変更して、設定してください。

□文書の削除に関する注意事項

=====

- 1.33R00 以前のバージョンの場合、文書管理権が設定されていない文書を文書管理機能管理者、システム管理者が削除すると、文書情報の一部がデータとして残ります。
- =====